



# ふるさと

# ウォッチング

11/5

## 木村哲ふるさと文学賞 短歌大会



木村哲ふるさと文学賞短歌大会が、チエリヴァホールで開催されました。

この短歌大会は、戦後間もなくから短歌の指導や普及活動を行ってこられた故木村哲先生（木次町里方・平成16年1月死去）を慕い、木村先生を囲む短歌サークルが大会を開いたのがきっかけです。

今年で8回目となる大会には、小学生から一般まで合わせて475首の応募があり、大賞作品には次の歌が選ばれました。

### 木村哲ふるさと文学賞短歌大会大賞作品（敬称略）

#### ●一般の部

雷鳴の轟く部屋に帰省の子と

将棋さしをりこの夏も近く

今岡 文子

#### ●ジュニアの部

花のような思い出が私を駆けめぐる

きれいな花びらひらひらと舞って

横山 茉莉（木次中3年）

森や川どこかにすんでいる生き物を

みんなで守りみんなで生きよう

内田 隆一（温泉小6年）

#### 「題詠水」

すき透る四万十川にもぐってきた

そこから青い大空が見えた

藤原 遥（木次中1年）

斐伊川の水がそよそよきれいな

白さき立って水守ってる

内田 亮太（温泉小6年）

11/3

## 落ち葉ちらちら コンサート



掛合町松笠にある明泉寺境内を会場に、ふるさと創生塾（長谷川純塾長）が主催する落ち葉ちらちらコンサートがあります。

コンサートでは仁多炎太鼓の演奏、長谷川塾長と松笠小学校児童らが作った曲「松笠のたからもの」などが披露されました。

また、地元松笠のそば同好会によるそばや知的障害者更生施設山楽園の入所者らによる手づくりパン、地元商店などのおでんなども振る舞われ、訪れた100人は、秋空の下、音楽と食を堪能しました。



10/16

## 全国TBGふれあい大会



加茂中央公園ふれあいの丘で、全国から231人の選手が参加して、ターゲットパードゴルフの全国大会が開かれました。

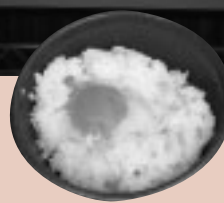
ターゲットパードゴルフは、羽根の付いたシャトルボールをいかに少ない打数でホールに入るかを競うもので、高齢者や初心者でも楽しめる手軽なスポーツ。また、その頭文字をとり「TBG」とも呼ばれています。晴天に恵まれた大会では、ナイスショットも連発。地域を越えた交流にもつながりました。

みなさんもTBGをやってみませんか？  
ゴルフ場は、毎週水曜日、年末年始などをのぞき9時から17時まで利用でき、貸しクラブ・羽根もあります。詳しくはB&G海洋センター ☎0854-4149-17100まで



10/28~30

## 日本たまごかけごはんシンポジウム



日本の食の定番「卵かけごはん」のシンポジウムが、吉田町の生涯学習交流館や農村環境改善センター、吉田総合センター周辺などを会場に、今年はいじめて開かれました。

シンポジウムでは、卵かけごはんのこだわりの食べ方を紹介するビデオ上映や応募された作文や論文などの作品発表、卵・醤油をテーマにした講演・パネルディスカッションなど多くの催しがあり、全国各地から愛好家が集まりました。

また、30日には「卵かけごはんの日（10月30日）」が制定されたほか、「卵かけごはん宣言」も発表・採択されるなどユニークなイベントとなりました。

今回のイベントは、全国ネットのテレビ取材や生中継もされるなど、全国的にも注目され、雲南市発となる食や自然を考えるイベントが誕生したのではないのでしょうか。



釜で炊いたご飯と新鮮な卵を使った吟味会もありました。

11/13

## 10年後はどんな未来に？ タイムカプセル



合併1周年を記念して、飯石小学校のグラウンドにタイムカプセルが埋められました。

このタイムカプセルは、飯石公民館が地区内の全世帯から、それぞれ思いの品を集めたもので、200の写真や手紙などが入れられました。カプセルは、10年後の平成27年11月に開封される予定になっています。



この日は飯石公民館まつりも開催され、大勢の人でにぎわいました。

10/29~30

## 田舎暮らし体験ツアー



大東町海潮地区で、都市住民に農業や伝統文化などの体験交流を通じて定住促進につなげようと田舎暮らし体験ツアーが実施されました。

主催したのは海潮地区振興会（宮川昇会長）で、大東町定住支援センター業務を受託する大東まちづくり研究会（村上修二代表）が協力し行われました。

1泊2日で計画された今回のツアーには、遠くは兵庫県宝塚市や広島県からなど総勢15名が参加。いも掘りやしめ縄作りなどの体験や海潮の名所である雲海展望、地元農園での田舎料理による交流、また2日目には、山王寺棚田まつりに参加し、餅つきや棚田米の試食、神楽鑑賞などを体験しました。

最後に行われた意見交換会では、参加者から「空気が食べ物もほんとに美味しかった」「地元の皆さんの温かさにふれ田舎の良さを痛感した」「これを機会に本格的に田舎暮らしを考えたい」などさまざまな意見が出されました。

